

H26 年度中期標準化戦略(1/2)

ジャンル名	ネットワーク	担当専門委員会	NGN&FN	(S)WG 名	NGN&FN(WG) NGN アップストリーム(SWG)
活動名	NGN 及び将来網に関すること				
重点的取組活動と達成目標 (全 SWG 分)	<p>① SDN(Software defined network)/NFV(Network functions virtualization)の検討をリードする専門委員会として、将来網系を含めた情報共有活動を実施する。</p> <p>② SG13 の将来網関連の課題 Q14(SDN およびサービス指向ネットワーキング)、Q15(データ指向ネットワーキング)、Q16(環境および社会経済持続可能性)等をはじめ、SG13 へのアップストリームを総務省と連携して継続する。クラウド等の課題に関連する AG とも連携してアップストリーム活動に対応する。</p> <p>③ CJK WG 対応を本専門委員会が実施し、必要に応じ他専門委員会、他 AG(IPTV/信号制御専門委員会等)と連携をとる。</p>				
他標準化団体の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>ITU-T SG13 では、NGN/IPTV は維持管理フェーズに移行し、将来網やクラウドコンピューティング、IOT の要求条件/アーキテクチャを中心したものとなった。将来網の中心課題として SDN(Software Defined Networking)の検討がすすんでいる。</li> <li>CJK UNIoT(Ubiquitous Networking in support of Internet of Things) WG にて各種技術における情報交換等を実施している。今後、CJK の場においても、上記の動き等を反映した検討体制変更などの議論が進むと思われる。</li> </ul>				
日本における状況 (技術動向、市場動向、標準化の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2008 年 3 月末に NGN の商用サービスが開始された。</li> <li>2013 年 9 月時点で、ブロードバンドユーザ数は 7,381.7 万 (FTTH、DSL、CATV、FWA、BWA、3.9 世代携帯電話アクセス加入者数の合計)、そのうち FTTH は 2,463 万、3.9 世代携帯電話アクセスは、3,184 万である(総務省資料による)。</li> </ul>				
TTC の標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>NGN 及び将来網への影響という観点で、Internet of Things の概念の明確化や網インパクトの評価など検討を行う。</li> <li>必要に応じ、新世代ネットワーク推進フォーラムの標準化推進部会との連携を行う。</li> <li>SDN(Software defined network)/NFV(Network functions virtualization)の検討をリードする専門委員会として、将来網系を含めた情報共有活動を実施する。</li> <li>SG13 の将来網関連の課題 Q14(SDN およびサービス指向ネットワーキング)、Q15(データ指向ネットワーキング)、Q16(環境および社会経済持続可能性)等をはじめ、SG13 へのアップストリームを総務省と連携して継続する。クラウド等の課題に関連する AG とも連携してアップストリーム活動に対応する。</li> <li>SG13 勧告のダウストリームの一環として、TTC 会員要望に応じて検討する。ITU の検討状況に応じて、既に規定した TTC 標準ならびに技術レポートの更新も検討する。</li> <li>CJK WG 対応を本専門委員会が実施し、必要に応じ他専門委員会、他 AG(IPTV/信号制御専門委員会等)と連携をとる。</li> <li>信号制御専門委員会での SG11 へのアップストリーム活動と、引き続き連携して活動する。</li> </ul>				

活動計画	H26	H27	H28以降	ドキュメント区分	記事
●標準化活動 NGN&FN				J	会員要望に応じて検討する 標準化検討候補として将来網関係 勧告(Y.3001、Y.3011等)
●CJK WG 対応 NGN&FN	■	■	■		会合時期は CJK 間にて整合
●アップストリーム NGN アップストリーム	(注) SG13 関連会合等の前後				(注)SG13 全体会合、SG13 関連会 合に関連

凡例: ▼ドキュメント制定(標準:J、仕様書:TS、技術レポート:TR、調査報告書:SR)、■会合時期

H25 年度中期標準化戦略 (2/2)

ジャンル名	ネットワーク	担当専門委員会	NGN&FN	SWG 名	QoS アーキテクチャ
活動名	NGN における QoS 制御方式に関すること				
他標準化団体の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITU-T <ul style="list-style-type: none"> <li>・SG12 では、低速回線特性を踏まえた、勧告 Y.1541 への新 Appendix XII が合意された。また、QoS パラメタマッピング (Y.1566) 関連での DiffServ DSCP と無線 QCI のマッピングや、無線ハンドオーバーに関する新規勧告草案 Y.154HO の議論が行われている。</li> <li>・SG13 では、クラウド関連、モバイル、Internet of Things(IoT)、Deep Packet Inspection(DPI)、Software-defined Networking(SDN)等、幅広い NW のフレームワーク・機能要件等が議論されている状況である。</li> </ul> </li> </ul>				
日本における状況 (技術動向、市場動向、標準化の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IP 電話、IPTV など、IP 網上で QoS 制御を行うサービスが急拡大している。総務省ではインターネットのサービス品質計測等の在り方に関する研究会が開催され、モバイルの QoS 計測の共通化に向けた取り組みがすすめられている。また、内閣府規制改革会議の答申を踏まえ、最新の技術動向や利用者ニーズを踏まえた OAB-J IP 電話の品質要件の在り方について検討を行う「OAB-J IP 電話の品質要件の在り方に関する研究会」が設立された。</li> </ul>				
TTC の標準化方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『JT-Y1221 IP ネットワークにおけるトラフィック制御と輻輳制御方式』の継続検討、ならびに信号制御専門委員会との連携を継続し、NGN での帯域制御の実現に向けて、主に U プレーンと網間接続における QoS/トラフィック課題をスコープとして検討を行う。</li> <li>・ITU-T SG12 におけるネットワーク QoS 関連標準の動向を調査し、必要に応じて JT-Y1540/JT-Y1541 の改定を検討する。</li> <li>・ITU-T SG12 へのアップストリームを行っている網管理 WG の通信サービス品質評価 SWG より質問があった場合に検討する。</li> </ul>				
活動計画	H26	H27	H28 以降	ドキュメント区分	記事
●標準化活動				J	JT-Y1221 改定(必要に応じて) JT-Y1540/JT-Y1541 改定 (必要に応じて)
●調査活動					ITU-T SG12 における NW-QoS 関連の標準化動向の調査を行う

凡例：▼ドキュメント制定(標準:J、仕様書:TS、技術レポート:TR、調査報告書:SR)